え～?! 坂田（ばんだ）の森に建設残土埋立て！

「東京湾の魚のゆりかご」坂田（ばんだ）の海が危ない！

東京湾の入り口で黒潮が流れ込む、北限域のサンゴ礁。魚をはぐくむ豊かな海草。東京湾に残された自然豊かな海、「アマモの草原、東京湾の魚のゆりかご」とNHKテレビで放映されました。館山市・坂田の海は、日本の宝です。

真冬でも緑あふれる房の大山。眼下に広がる大海原の絶景。「森は海の恋人」、坂田の海は、坂田の山にもはぐくまれているのです。100 万立方メートルの残土がそのふもとを埋め尽くす。山の自然・生態系が壊され、そして海も壊される恐れがあります。集中豪雨などによる土砂崩れも心配です。

子々孫々に、今ある大事な自然を残すのは、私達の大きな役目ではないでしょうか。

残土って安全か！

残土から毒性の強い六価クロム、ひ素などが検出されたことがあります。残土の安全性検査をすり抜ける残土業者に手を焼き、地権者にも責任があると県条例を改めましたが、違法・脱法行為は後を絶ちません。さらに、放射性物質が含まれる土砂等は、検査基準もあいまいで処分場もなく困っている状況です。3年もの間には、放射性物質がいつ残土に混ぜられて埋められるか不安です。

発生元検査は、ダンプ約 800 台毎にたった一検体!

満載ダンプが 3 年間、毎日 100 台走る！

館山港から坂田まで、埃をまきあげ、泥を落としながら、満載ダンプが3年間、毎日100台が行き来するといいます。高齢者や子ども達の交通事故も心配です。残土埋立ては市民の暮らしと館山の観光振興にとって大きなダメージとなります。

私達は「海域公園」を提案します！

館山市の活性化にとって海の自然を生かした施策が必要です。県には、勝浦のように、坂田を含め自然公園法の西岬海域公園地区の指定をしてもらい、海域の保護と利用を考えたいと思っています。広く市民の皆さんに提案していきます。

この活動は、ボランティアとカンパで支えられています。印刷費、宣伝費、通信費、交通費などの活動費を、カンパでまかないます。

郵便局口座
10540-19482651
館山の海と山の自然を守る会）宛。
ご協力をお願い致します。

★幹事団体：館山の海と山の自然を守る会　代表　船田正廣
連絡先（事務局）　沖山静彦　〒294-0306　館山市加賀名 239-108
FAX 0470-29-0184 携帯電話 090-5795-3445 メール sokiyama@nifty.com
★賛同団体：坂田の海を守る会、館山・西岬　子どもを守る会、
たてやま・海辺の鑑定団、残土・産廃問題ネットワーク・ちば

みんなの署名で、残土埋立場建設中止を！

２０１１年１１月

＊下記個人情報は、本目的以外には使用しません。年齢・居住地は問いません。ご家族皆さんでお願いします。
＊コピーは自由にお取り下さい。お手数ですが郵送、または各団体に直接お届け下さい。ファックスでも受け付けています。
＊署名活動は、建設中止まで続けます。　詳しくは、「坂田の海と山を未来の子どもたちに！」で検索

キ　リ　ト　リ

陳情書

千葉県知事　森田健作　様
館山市長　　金丸謙一　様

坂田の残土埋立場は、魚のゆりかごといわれる坂田の海と山の生態系に多大な影響を与え、かつ地域住民の暮らしを脅かしかねません。

私たちは、坂田の残土埋立場建設に反対します。

氏　名	住　所